

平成27年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努めた。

1. 第33回 まつやま中学生海外派遣

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。なお、韓国班については、韓国国内で感染症（中東呼吸器症候群MERS）が発生したことにより、急きょ訪問先を平澤市から松山市と友好交流協定を締結している台湾・台北市への派遣に変更し、台湾班として実施した。

(1) 応募・選考

1年間の国際交流事業への参加実績に応じてポイントを付与し、翌年度の派遣事業への応募資格とする「中学生チャレンジプロジェクト」を実施。派遣前に松山で活動できる国際交流事業に参加し、その意義を学び、楽しさを体感することで、派遣後も引き続き地域の国際交流に貢献できる人材の育成を目指した。

4ポイント以上の参加により、応募資格を獲得した生徒は86人。面接審査により、3年生19人・2年生22人・合計41人（18校）を選考した。

(2) 事前研修及び結団式・壮行会

事前研修：4回開催

結団式・壮行会：7月12日 10:00～11:15

(3) 派遣

①アメリカ班

期間：7月21日～7月31日 11日間

訪問先：サクラメント、サンフランシスコほか

派遣団：中学生 16人（男子6人、女子10人）

団長 日野弘子（湯山中学校 校長）

引率教師 野本浩一（拓南中学校 教諭）

〃 河野理佳（勝山中学校 教諭）

協会職員 田中早苗

活動内容：【サクラメント】

- ・州議事堂、市庁舎、オールドサクラメントの街並み等の見学
- ・コロマ金鉱での発掘体験
- ・州最大のお祭り「カリフォルニア・ステート・フェア」の見学
- ・現地姉妹都市協会との交流会
- ・ホームステイ ほか

【サンフランシスコほか】

- ・農場体験
- ・アメリカ地質調査所、NASAエイムズ研究センター見学
- ・LSIバークレー校で英語研修および留学生との交流 ほか

②ドイツ班

期 間：7月17日～7月28日 12日間（大阪前泊）

訪 問 先：フライブルク、ジュネーブほか

派 遣 団：中 学 生 16人（男子9人、女子7人）

団 長 一 色 常 道（垣 生中学校 校長）

引率教師 土居原 歩（北 中学校 教諭）

〃 小笠原 由 衣（城 西中学校 教諭）

協会職員 敷 村 弥 生

活動内容：【フライブルク】

- ・エコステーション、サッカースタジアムでの環境学習
- ・旧市街でのオリエンテーリング、フライブルク大学見学
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会
- ・学校訪問による青少年交流、ドイツ語学校授業体験 ほか

【ジュネーブほか】

- ・国際連合ヨーロッパ本部見学
- ・地下塩坑、レ・ディアブルレ氷河、オリンピック博物館見学
- ・伝統の切り絵細工体験 ほか

③台湾班

期 間：7月24日～7月28日 5日間

訪 問 先：台北市

派 遣 団：中 学 生 9人（男子5人、女子4人）

引率教師 石 崎 有 一（桑 原中学校 教諭）

〃 砂 野 美 和（雄 新中学校 教諭）

協会職員 松 本 美 貴

活動内容：・台北市内 故宮博物院、国父記念館見学

- ・台北市内の中学校で生徒と交流
- ・ホームビジット ほか

(4) 報告会

日 時：8月22日 13:30～15:20

会 場：コムズ5階 大会議室

内 容：米独台3班による報告

27年度チャレンジプロジェクト登録生徒36人が参加

(5) 報告書の発行

報 告 書：A3・8頁 1, 800部（市内中学校全クラスへ枚数を配布）

(6) 27年度チャレンジプロジェクト

- ・市内全中学校への案内文書の発送やホームページへの掲載のほか、4月19日に説明会を開催するなど、登録生徒を募集
- ・中学生に相応しい国際交流、体験活動を随時実施。30事業に延べ626人が参加。107人が28年度派遣への応募資格となる4ポイント以上を獲得した。

2. 姉妹・友好都市からの青少年受入交流

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

例年実施している韓国・平澤市の中学生受入れ交流事業については、相互交流となっている「まつやま中学生海外派遣事業」の韓国派遣中止にともない、27年度は実施なしとなった。

(1) フライブルク市青少年受入交流

まつやま中学生海外派遣・ドイツ班の中学生が、フライブルク市でパートナーとなり交流した生徒を含むゲーテ・ギムナジウム(中高一貫校)の訪問団を受け入れ、日本文化体験や学校訪問、ホームステイ等の交流を行った。

期 間：11月3日～11月8日 6日間

参 加 者：生徒15人・引率教諭3人

交流内容：石手川ダム見学

浴衣着付け、茶道体験(指導：松山市シルバー人材センター)

愛媛FCレディースとのフットサル交流

湯山中学校訪問による授業参加、生徒との交流

しまなみ海道ツアー(来島海峡観潮船・サイクリング)

カメラファミリー(中学生派遣経験者の会)との交流会

ホームステイ ほか

3. 海外からの親善訪問団等受入

姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ、親睦を図ったほか、海外からの文化・スポーツ・教育関係者など、様々な個人・団体が来松した機会を捉え、市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めた。

(1) フライブルク市国際交流部 ギュンター・ブルガー氏受入れ

フライブルク市で長年姉妹都市交流を担当しているブルガー氏が来松、今後の交流計画について協議を行ったほか、学校での交流や、松山フライブルク会会員との交流を図った。

・期 間：7月7日～10日

・内 容：協議及び道後アート2015視察

松山東高等学校訪問交流

松山フライブルク会会員との交流会 ほか

(2) ジャズハーピスト 古佐小 基史さん

松山市出身でサクラメント市を拠点として活動する古佐小基史さんが公演のため帰松した機会に、生徒を対象とした交流事業を実施した。

・内 容：①10月25日 チャレンジプロジェクト「世界で暮らす日本人」

中学生23人が参加 ハープ演奏・講話

②10月26日 松山市立雄郡小学校

6年生85人が参加 ハープ演奏・講話

- ③ 10月27日 愛媛県立松山北高等学校中島分校
全校生徒50人が参加 ハープ演奏・講話
- ④ 10月27日 松山市立中島中学校
生徒13人と中島小学校からも児童52人が参加
ハープ演奏・講話
- ⑤ 10月28日 松山市立怒和小学校
全校児童8人と津和地小学校からも全校児童2人が参加
ハープ演奏・講話
- ⑥ 11月 5日 松山市立浅海小学校
全校児童29人 ハープ演奏・講話

(3) 愛媛マラソン平澤市選手団

第54回愛媛マラソンに参加のため、平澤市マラソン連合会理事を始めとする選手4人を含む合計5名が来松。平澤港マラソンに松山市選手団が参加したことに伴う相互交流となっており、陸上競技関係者との交流も実施した。

- ・期 間：2月5日～9日
- ・内 容：愛媛マラソンへの選手4人の参加、前夜祭参加、マラソン競技関係者との協議、松山城・しまなみ観光 ほか

※ その他、海外からの国際交流団体や行政視察団、各国外交官等の来松に際し、松山市との連携により、通訳やアテンド、市民交流のコーディネート等を行った。

4. 地球人まつり

E P I Cとの共催により、19回目となる「地球人まつり in まつやま・えひめ」を開催し、外国人市民が市民と一緒に自国を紹介するブースを出展することで、外国の歴史や文化に親しみながら市民とふれあう機会を提供し、身近な国際交流の促進を図った。

また、各ブースのボランティアスタッフとして参加した市民は、企画・準備から運営までを外国人市民とともに行うことで、より深い交流を行えたほか、幅広い年代層の市民参加があったことから、世代間の交流の場ともなった。

- ・日 時：1月17日 13：00～17：00
- ・場 所：松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール1F・2F
- ・出 展：世界各国ブース 21ブース（前年比1減）
フードコーナー 10カ国
民族衣装試着コーナー
パフォーマンス出演 15グループ
- ・ボランティア数：外国人市民55人・市民ボランティア184人
（うち、チャレンジプロジェクト登録生徒40）
- ・来 場 者：約1,800人
- ・そ の 他：2階に愛媛県国際交流協会が主催する県内国際交流団体の活動紹介ブースが出展

5. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）の収穫に合わせ交流イベントを開催するとともに、収穫した果実からぶどうジュースと飴を製造し、「地球人まつり」「国際交流サロン」等のイベントで配布・活用した。

○ブドウ狩りイベント

日時：8月19日、参加者：外国人市民11人・中学生15人

内容：ブドウ収穫・えひめ飲料工場見学

- 製造品
- ・ぶどうジュース 206本（250ml瓶）
 - ・ぶどう飴 600袋（10個入り）

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生を推進した。

1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、本年度より来日間もない外国人住民を対象とした「今すぐ日本語～くらしの情報広場～」を開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報も提供した。

講座名	曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)		
				前期	後期	
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	30	29	20
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	30	32	17
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	30	20	12
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	30	7	24
	初級Ⅱ	火曜	18:30～20:00	30	9	15
週末	今すぐ 日本語	土曜	前期 9:00～12:00 後期 13:30～15:30	20	5	16

○託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

・利用者：前期11人（子ども13人）、後期10人（子ども10人）

○「今すぐ日本語」では、外国人オタスケマン登録者にサポーターとして参加してもらい、生活情報提供等を行った。

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団体名	事業内容	助成金額 (総事業費)
シェア・ライフ・デザイン	市内各戸に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供する活動を実施。年間600点を超える生活用品（洗濯機や冷蔵庫、自転車など）を留学生へ提供した。また Facebook で活動の周知を行い、理解を促進した。 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ごみ処理費	400,000 円 (864,029 円)

3. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。特に、今年度は JICA 四国を始めとする他機関との共催により、内容の充実を図ることができた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	4月25日	【エ〜ナッ！！満タン インドネシア】 インドネシア出身の3名の講師による、多様性に富んだインドネシアの食文化紹介の後、実際に調理し試食。食による国際理解の容易さを実感した	29
2	6月26日	【あれこれ知りたい！！カムオンベトナム】 3名のベトナム出身留学生を講師に、ベトナムの今を紹介。ベトナム語、食文化、歌と、多彩な情報に触れることができ、ベトナムへの理解を深めた	26
3	9月5日	【〜ポレポレ（ゆっくりゆっくり）世界旅行〜 学んで、楽しむチョコレート】 《JICA 四国と共催》 元協力隊員から、アフリカとフェアトレードカカオについてのお話をうかがった後、‘カカオ豆からチョコレートドリンク作り’を体験した	32
4	10月9日	【韓国文化物語】 《駐広島大韓民国総領事館と共催》 日本の内外で活躍されている舞踊家を講師に、普段あまり目にすることない韓国の伝統舞踊について歴史や意味を紹介。また、参加者もワークショップで舞踊を体験した	33
5	11月29日	【まんぷく体験！イスラムワールド】 《JICA 四国と共催》 元協力隊員（マレーシア）や留学生（イエメン）のお話につき、ヒジャブの試着、お菓子の調理と試食を体験。最後はサウジアラビアが舞台の映画を鑑賞した。さまざまな国の文化に触れるとともに、イスラム文化の多様性も知る機会となった	40

6	1月31日	【学んで楽しむ世界の料理】 ≪JICA 四国と共催≫ ≪コムズフェスティバル事業として開催≫ 元海外青年協力隊の隊員による世界各国の紹介と料理体験。ケニア、ドミニカ共和国、バングラデシュ、エジプトの食文化に触れる機会となった	22
7	3月19日	【マーライオンだけじゃない！シンガポールの魅力大発見！】 ≪愛媛シンガポール協会との共催≫ シンガポール出身講師に、シンガポールの魅力や文化について紹介してもらったほか、朝食の定番‘カヤトースト’と地元の人々のソウルフード‘バクテー’を試食。シンガポールの多文化を味覚で体験した	21
合 計			203

4. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座等を開催し、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

職員による出前講座や職場体験を開催したほか、学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを派遣するなど、「国際理解教育」への支援を行った。

内 容	小 学 校	中 学 校	そ の 他
① 職場体験／出前講座	—	4回（30人）	—
② 学校等への外国人派遣	3回（20人）	2回（14人）	3回（11人）
③ アンケート調査のため外国人住民紹介	—	—	3回（主に日本語講座受講生）

※延べ人数、①は参加生徒数 ②は派遣した外国人数 ③はすべて高校生からの依頼

(2) コスモリアン教室

JICA四国・松山ユネスコ協会などの民間国際団体との連携により、ワークショップを開催したほか、外国人や海外生活者と直接交流できる機会を設け、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	5月31日	【発見！世界遺産とわたしの町のたからもの】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ 世界遺産をカルタやビンゴゲームで楽しく知るとともに、その意義を学ぶとともに、自分たちに身近な宝物についても考えた	29

2	6月14日	【のぞいてみよう！国際協力の世界①】 ≪ J I C A 四国との連携 ≫ ○元青年海外協力隊員体験談：モンゴル ○ワークショップ： 自分の夢を実現するために必要なことは何かを 考えるワークショップを実施。夢への道筋を整理す ることのできる機会となった	26
3	10月4日	【体感！安寧！ピョンテク】 平澤市出身の留学生を講師に迎え、平澤や韓国の生 活・文化・学校生活の様子などを紹介してもらった ほか、韓国のおやつホットク作りにも挑戦した	28
4	10月18日	【のぞいてみよう！国際協力の世界②】 ≪ J I C A 四国との連携 ≫ ○元青年海外協力隊員体験談：ジンバブエ ○ワークショップ： マサイの人たちの‘共存’を通して平和について 考えた。また、遠いと思っているアフリカと日本の 生活が繋がっていることを知る機会となった	30
5	10月25日	【世界で暮らす日本人】 松山出身でサクラメントを拠点に活動するジャズ ハーピスト・古佐小基史さんをゲストに、ハーブの 鑑賞やご自身の体験談を聞いたほか、これから海外 でホームステイなどを経験しようとする人へのア ドバイスもいただいた	23
6	11月1日	【ユネスコ世界寺子屋運動と世界のトモダチ ユネスコの国際協力】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ ユネスコが行っている世界寺子屋運動についての 説明を聞いた後、ネパール語で寺子屋へ届けるメッ セージを書いた。自分達にできることについても考 える機会となった	18
7	3月6日	【What's up? サクラメント】 サクラメント出身の講師を迎え、サクラメントにつ いて地元人ならではの紹介をもらったほか、ダ ンスにも挑戦。アメリカのリズムを体感した。	22
合 計			176

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD(持続可能な開発のための教育)の専門家であるNPOを学校へ派遣し、
 頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

	学 校	内 容
1	小野中学校 2年生 20人	モザンビークでの活動や、四国で実施しているESDの取り組みなどについてスライドを活用しながら体験談を紹介。世界の現状等に関心を持ってもらうことを目的として「グローバル・ローカルかるた」の作成に取り組んだ。また、青年海外協力隊が活動に関するパネル展示などを実施した。

2	新玉小学校 5, 6年生 90人	夏休みを利用して国際理解を深める目的でワークショップを開催。貿易ワークショップでは国家間で資源や環境などの格差があることを疑似体験し、ハンガーバンケットでは世界の格差を疑似体験した
3	清水小学校 4年生 72人	大川をフィールドとして、これまで実施してきた川の清掃活動、生き物、護岸に関わる情報について話を聞いた。モザンビーク、ネパールの文化や自然災害を学んだ上で、大川の外来種の問題や、洪水の話など身近な川の問題について学習した
4	松山東高校 1～3年生 20人	国際協力、フェアトレードの普及啓発活動、ボランティア活動に取り組み、松山南高校、松山中央高校、松山商業高校合同で、フェアトレードに関する勉強会も行った。グローバル・ローカルかるたを四国の全高校に送るための発送作業と、かるたの活用方法意見交換会等を行った

(4) 外国語（英語）de おしゃべりジュニア編

中学生とネイティブスピーカーがグループになり、遊びやゲームを英語だけでやり取りすることで、楽しみながらコミュニケーション能力の向上を図った。

月 日	内 容	参加者数 (人)
6月20日	言葉当てゲームほか	中学生 25 外国人市民 5
9月27日	ジェスチャーゲームほか	中学生 28 外国人市民 6
12月 6日	連想ゲームほか	中学生 31 外国人市民 6
2月21日	ビンゴゲーム、伝言ゲームほか	中学生 16 外国人市民 6
3月20日	買い物シュミレーションゲームほか	中学生 19 外国人市民 5
合 計		中学生 119 外国人市民 28

5. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、お祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、地域住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への受け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	5月9日～ 10日	【二之丸大茶会】 愛媛県茶道連盟松山支部の招待により、外国人市民が伝統文化を体験	30

2	5月12日	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を観賞	8
3	10月6日	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流	5
合 計			43

※ その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベントへの招待や、参加呼びかけ、ボランティア活動・祭りなど地域行事への参加もあり。

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や団体の活動の活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努めた。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、地域の国際化の現状を理解するための入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。また、中学生を対象に「ジュニアボランティア入門講座」を開催し、幅広く人材育成に努めた。

○入門講座

- ・日 時：2月14日
- ・受講者数：44人
- ・内 容：日本と松山の国際化の現状について理解を深めるとともに、愛媛大学国際連携機構のルース・バージン教授を講師に迎え、国際交流ボランティアを始めるにあたっての心得について学んだ

○国際交流団体による活動紹介

- ・日 時：2月28日
- ・受講者数：31人
- ・内 容：市内で活動する国際交流13団体が参加市民に対してガイダンスを行い、マッチングを図った

○ジュニアボランティア入門講座

- ・日 時：11月22日
- ・受講者数：中学生15人
- ・内 容：アジア・アフリカの民間支援団体「アジアキッズケア」において、外国人市民とともに、フィリピンへの支援物資の荷づくり作業等の体験

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を活かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、これらの受講者を含めてボランティアガイドに登録し、活動してもらうことで、市民参加の拡大に努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、ボランティア活動に必要かつ実践的な語学の習得を図った。

講座名		前期（4～9月）	後期（10～3月）
ハングル	上級	13回・登録者16人	13回・登録者17人
中国語	上級	13回・登録者13人	13回・登録者11人
英語	平日	15回・登録者60人	15回・登録者60人
	土曜集中	5回・登録者28人	5回・登録者25人

・各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際、外国人市民をゲストに招き、実践的な活動を行った。

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：113人》

	月日	内容	種別	派遣人数(人)
1	8月7日～8日	世界スカウトジャンボリー後のボーイスカウト受け入れに伴う打合せ	通訳	1
2	9月21日	フライブルクからの来訪者の松山城及び中心市街地案内	ガイド	1
3	2月7日	愛媛マラソン 平澤市からの参加者のサポート	通訳	2
4	2月9日	愛媛マラソン 平澤市からの参加者の松山城案内	ガイド	2
5	2月26日	台湾からの観光客の松山城案内	ガイド	1
合計				7

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人に対し、ホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

《ホストファミリーバンク登録：146家庭》

	期 間	受入 家庭	受入人数 (人)	内 容
1	5月22日～24日	12	13	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
2	9月11日～13日	7	8	愛媛大学の短期留学生
		3	6	愛媛大学の短期留学生のホーム ビジット
3	10月24日	4	16	アフリカからの研修生
4	10月18日～19日	2	4	中国人高校生 (J O C A広島からの依頼)
5	1月9日～11日	10	12	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
6	2月6日～7日	1	1	松山大学の台湾人留学生
7	2月13日～14日	1	1	松山大学の中国人留学生
8	2月19日～22日	9	18	韓国人高校生 (E P I Cからの依頼)
9	3月11日～13日	13	25	インドネシア人大学生 (J I C E関西支所からの依頼)
合 計		62	104	

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施した。

- ・ 交流実績：春季（6月～9月）：6カ国17人の留学生が17家庭と交流
 秋季（11月～2月）：10カ国43人の留学生が34家庭と交流
- ・ 登録家庭：159家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

《オタスケマン登録者数：医療136人・日常327人》

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	5月5日	婦人科への付き添い	1
2	8月20日	妊婦健診	1

3	10月24日 ～1月23日	産婦人科の検診に同行（計7回）	1
4	1月12日 ～1月26日	整形外科への通院補助と診療の際の通訳（計4回）	1

※このほか、出産時の通訳の依頼もあり、出産予定日前後に合わせ6名でサポート可能な体制を用意したが、実際の派遣には至らなかった。

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	5月16日～	「今すぐ日本語」サポート及び情報提供（9回）	7
2	7月23日	市役所子育て支援課への同行・通訳	1
3	9月 8日	小学校における帰国子女の学校生活支援員	1
4	9月 9日	小学校における帰国子女の学校生活支援員	1
5	9月18日	市役所保健相談窓口への同行サポート	1
6	10月3日～	「今すぐ日本語」サポート及び情報提供（4回）	5
7	10月 5日	市役所健康保険手続きに同行・通訳	1
8	10月 6日	運転免許切り替え手続きに同行・通訳	1
9	10月14日	小学校入学手続きに伴う説明会への同行・通訳	1
10	2月16日	小学校における外国人児童の学校生活支援員	1
11	3月 2日	中学校における帰国子女の学校生活支援員	1
12	3月10日	小学校における外国人児童の学校生活支援員	1

(3) 愛媛大学留学生来日手続き…市役所・銀行・大学での書類記入サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	3月22日	市役所での手続き同行サポート	1

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

姉妹・友好都市との交流促進を目的として民間団体等が実施する訪問・受入事業に対し、助成金を交付し、市民主体の友好親善の促進を図った。

	月 日	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
1	7月 3日 ～ 7月 8日	<p>交付先: 新田青雲中等教育学校 事業名: C.K.マクラッチー高校とのとの交流事業 内 容: 姉妹都市サクラメントから C.K.マクラッチー高校の生徒ら18名を受入れ、学校行事・授業・日本文化体験を通して交流を行ったほか、ホームステイも体験してもらい、受入れた家族など多くの人に関わってもらうことで、相互理解を深めた。</p> <p>主な経費 : ホームステイ費用、交通費</p>	14,320 円 (60,640 円)
2	9月22日 ～ 9月28日	<p>交付先: サクラメント松山姉妹都市協会 事業名: 2015 国際平和デー・サクラメント派遣事業 内 容: カリフォルニア州議事堂において開催された「国際平和デー」に愛大付属高校の生徒ら6人が参加し、日本舞踊や三線演奏を披露したほか、現地の高校2校を訪問し、文化交流を行った。また滞在中は、ホームステイを通じて、交流を深めた。</p> <p>主な経費 : 渡航旅費</p>	200,000 円 (1,333,446 円)
3	10月16日 ～ 10月18日	<p>交付先: 愛媛地球市民の会 事業名: 第21回日韓市民友好交流フォーラム 内 容: フォーラムの理事を始め20名が来松。今回のテーマである「観光交流の促進」のため、お互いの地域の観光資源を視察、今後の市民交流の促進のための意見交換を行った。</p> <p>主な経費 : 滞在費、交通費など</p>	200,000 円 (1,045,020 円)
4	10月16日 ～ 10月19日	<p>交付先: 松山・平澤友好協会 事業名: 松山・平澤友好協会平澤市訪問事業 内 容: 松山市代表団の平澤市訪問にともない、協会会員12名が平澤市を訪問。平澤港マラソン大会へのブース出展や友好都市提携10周年記念祝賀会への参加を通して、平澤市民との交流を深めた。</p> <p>主な経費 : 渡航旅費</p>	200,000 円 (634,950 円)

5	10月16日 ～ 10月19日	交付先：平澤港マラソン招待選手団 事業名：平澤港マラソン大会への参加 内 容：平澤市からの招待を受け、選手・役員計5名が同市を訪問。選手4人全員が完走し、ハーフマラソン女性の部では4位に入賞した。会場のブースでは多くの市民やマラソン関係者と交流し、愛媛マラソンへの参加に向けた意見交換も行った。 主な経費：渡航旅費	121,450円 (242,900円)
6	11月11日 ～ 11月16日	交付先：愛媛県立松山東高等学校 事業名：松山東高校SGH事業 海外フィールドワーク（ドイツ・フライブルク市） 内 容：プログラムに参加の生徒ら7人が、環境政策先進地であるフライブルク市を訪問。環境に関わる幅広い分野の視察を実施したほか、同世代の生徒とも環境への取り組みについて意見交換を行った。 主な経費：渡航費用	200,000円 (1,889,440円)

(2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	10月10日	第32回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会～	松山東雲中学・高等学校
2	10月10日	第22回カルフル杯英語弁論大会	松山大学 E.S.S「英語部」
3	12月19日	東雲インターナショナル防災	えひめグローバルネットワーク
4	12月20日	中国健康フェスタ2015	NPO 日中友好愛友会
5	2月27日～ 3月4日	第5回愛媛 LGBT 映画祭2016	レインボープライド愛媛

6. 情報発信事業

(1) 情報冊子等による情報提供

生活ガイドブック、防災マニュアル等により、生活情報を外国人市民へ提供するとともに、市民に対しても、姉妹・友好都市紹介等のパンフレットを提供し、国際理解の促進を図った。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集した英文情報誌を月に1回発行し、各種情報を提供した。

○月刊英文情報誌「What's Going On?」

毎月約630部発行（公共施設・駅・空港・大学など39か所に設置）

(2) ホームページ・メールニュース・フェイスブックによる情報提供

イベント、講座等の情報のほか、外国人市民向けの生活情報も適宜、掲載・発信し、情報内容の充実に努めた。

○メールニュース

週1回定期発信、登録数：市民 1,694件・外国人市民 742件

(3) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書、国際理解啓発DVD等を収集し、市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：52件

(4) ラジオ・テレビによる広報

松山市のラジオ・テレビ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月 日	告 知 内 容	番 組 名
1	5月23日	中学生チャレンジプロジェクト登録案内、国際交流サロン「ベトナム」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
2	8月15日	ボランティア語学講座（後期）・My Matsuyama Family の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
3	10月24日	国際交流サロン「イスラムワールド」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
4	12月24日	「地球人まつり2016」の案内	FM愛媛
5	1月 2日	「地球人まつり2016」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
6	1月 9日	「地球人まつり2016」の案内	テレビ広報番組 「大好き!まつやま」

IV. もてなしの風土醸成事業

日本語教室や文化体験等、協会が持つノウハウを生かしたプログラムを提供することで、外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努めた。

1. 日本体験集中プログラム

愛媛県国際交流協会が実施する日本語教室と、本協会が実施する日本文化体験、市民との交流等、県市協会の持つノウハウを生かしたプログラムを提供することにより、姉妹友好都市からの誘客を図り、交流人口拡大に向けた一助とした。

- ・期 間：3月5日～23日
- ・受入人数：フライブルク市で日本語学習中の市民1人
- ・内 容：E P I C「日本語集中講座」受講（10日間）
松山市役所剣道部の協力による剣道体験
松山フライブルク会の協力による茶道体験、弓道体験、日本料理体験・交流、内子・双海観光 など

2. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ・設置台数 10台
- ・料 金 無料
- ・貸出回数 28回

V. 評議員会・理事会の実績等

平成27年度における評議員会・理事会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催日時：平成27年6月4日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成26年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事の任期満了に伴う選任

出席者：評議員3人（欠員1人）、理事2人、監事1人（欠席1人）

○第2回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任

公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

出席等：決議事項について、評議員3人全員（欠員1人）の書面による同意の意思表示を得た6月17日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

○第3回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任

出席等：決議事項に対し、評議員3人全員（欠員1人）の書面による同意の意思表示を得た8月20日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催日時：平成27年5月20日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成26年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事の任期満了に伴う選任

平成27年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事6人（欠席1人）、監事1人（欠席1人）

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会代表理事及び業務執行理事の選定

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た6月4日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任

公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

公益財団法人松山国際交流協会事務局長の選任

出席等：決議事項について、理事6人全員（欠員1人）の書面による同意の意思表示及び、監事1人全員（欠員1人）から書面により異議がないことの意味表示を得た6月17日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第4回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会業務執行理事の選任

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た6月17日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第5回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た8月20日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第6回理事会

開催日時：平成28年3月18日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：平成28年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算の承認

公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事6人（欠席1人）、監事1人（欠席1人）

3. 関連当事者との取引の内容

役職及び氏名	内 容	金 額
評議員 ルース・バージン	5月9、10日に開催した「まつやま中学生海外派遣事業」派遣生徒選考のための面接審査員及び、6月21日に実施した海外派遣事前研修と2月14日に開催した国際交流ボランティア市民入門講座の講師	36,500円
理 事 楊 泓	「交流ボランティアのための語学講座」中国語における講師 平成27年4月から9月の間で、1回あたり1時間30分の講座を13回実施	130,000円